

令和4年6月27日開催

岐阜地方裁判所における

令和4年度裁判員等経験者との意見交換会 開催概要

参加者の紹介

裁判員等経験者4名、裁判官3名(司会の裁判長を含む)、検察官2名、弁護士2名

(裁判員等経験者)

裁判員等経験者1	70代男性(以下「	1番さん	」と表示)
裁判員等経験者2	女性(以下「	2番さん	」と表示)
裁判員等経験者3	50代男性(以下「	3番さん	」と表示)
裁判員等経験者4	40代女性(以下「	4番さん	」と表示)



さいたん

司会者の裁判長裁判官は「 司会 」と表示)



さいにゃん

裁判員等経験者の方から、それぞれのテーマについて貴重なご意見・ご感想をいただきましたので紹介します。

意見交換の内容は次のとおりです。

テーマ1 全般的な感想

- 司会 実際に裁判員を御経験されて、どのような感想をお持ちになりましたか。
- 1番さん 裁判は、テレビで見たことはありましたが、実際に裁判員を経験してみると、裁判の進め方や書類の提出方法など勉強になりました。
- 2番さん 裁判員経験のある友人から裁判員について事前に話を聞いていましたが、実際に裁判員を経験してみると、すごく充実感があって、裁判を身近に感じるようになりました。
- 3番さん 最初は法律に詳しくない者が間違っただ判断をしないか心配でしたが、裁判官や検察官、弁護士の方々の詳しい説明を聞いて、すごく分かりやすいと感じました。
- 4番さん まさか自分が裁判員に選ばれるとは思いませんでした。それに担当した事件は審理期間が2か月もあったので、最終的に判決までいけるのかと思いましたが、終わってみれば、素人でもできるんだと思いました。

テーマ2 冒頭陳述

- 司会 検察官や弁護人の行った冒頭陳述について、内容は分かりやすかったですか。
- 3番さん 担当した事件は、事件の数が多く、登場人物もたくさんいたので、事件ごとに分けて順番にやってもらえてとても分かりやすかったです。また、被害者は調書の朗読でしたが、法廷で被害者の動画を流すなどするとより感情等が伝わりやすいと思いました。
- 4番さん 担当した事件は、被告人が外国人の事件で事件の数も多数ありだったので、把握するだけでも大変でしたが、資料には名前を四角く囲うなど、分かりやすくしてもらえたので助かりました。

テーマ3 証拠書類の取調べ

- 司会 証拠調べの内容について、法廷で見聞きしてきちんと理解できましたか。
- 2番さん 証拠調べで包丁やベルトを実際に見て気分が悪くなったことがあったので、遺体の写真などはイラストにしてもらえてよかったと思います。
- 3番さん 調書の朗読だと淡々と事象を語られるので、被害者本人が感情を込めて話すのとは入ってくる情報や印象も違うと思いました。被害者本人の肉声や動画があると、より実感が湧き、いかに被害そのものが悲惨だったかが伝わるのではないかと思いました。
- 4番さん 被害者によっては、怖くて法廷に出て来れない方もいると思いました。

テーマ4 証人尋問、被告人質問

- 司会 証人尋問や被告人質問は、分かりやすく行われていましたか。
- 1番さん 心神耗弱については、法廷では十分に理解できませんでしたが、後で裁判官から説明を受けて理解できました。
- 司会 外国人が被告人となっている事件では、通訳人を介して証人尋問や被告人質問を行うことがあります。分かりにくさややりにくさはありませんでしたか。
- 4番さん 通訳人は裁判員に背を向けて通訳しているので、声が聞き取りにくいことがありました。裁判員の後ろにスピーカーを付けてもらえると聞き取りやすくなると思いました。また、通訳する言語によっては、細かいニュアンスが分からないので、証人がどのような気持ちで話しているのか汲み取りにくいところがありました。

テーマ5 論告、弁論

- 司会 論告・弁論について、検察官と弁護士それぞれの言いたいことが分かりやすく伝わりましたか。
- 3番さん 複数の事件の場合に、1件ずつ順を追って、分けてやっていただけたので、非常に分かりやすかったです。
- 4番さん 内容が分かりやすく記載されていて、親切に書いていただいていると思いました。また、検察官は、事件ごとに用紙を分けていたので分かりやすかったです。弁護士はA3用紙1枚でしたが、A4の用紙で事件ごとに分けていただけると分かりやすかったと思います。

テーマ6 裁判の日程

- 司会 裁判全体の審理のスケジュールについてはいかがでしたか。参加するに当たり困った点や苦勞された点などはありませんでしたか。
- 4番さん 会社側が協力的だったので、そんなに困ったことはありませんでした。会社によっては、1か月や2か月休みを取ることになるのは大変かなと思います。また、時期によっては、午後5時に裁判が終わると外が真っ暗なので、小さなお子さんがいる家庭は不安だろうと思います。
- 2番さん 裁判員に選任されてから審理までの間に中3日ありましたが、子供の学校行事の調整や習い事の送迎依頼などで大変だったので、中一週間ぐらいあるとよかったと思います。また、子供の下校時間もあるので、午後5時まで拘束されるのは厳しかったです。日数を増やしても良いので、午後2時か3時に終わってもらえると助かります。それに午後からの審理は集中力が欠けることもあるので、午前中に審理を集中させたり、午後を短時間にするのもいいと感じました。

テーマ7 これから裁判員になる方へのメッセージ

- 司会 これから裁判員になられる方にアドバイスやメッセージをお願いします。
- 1番さん 最初は不安だと思いますが、実際に事件に携わってみると理解も深まります。心配することなく、裁判員として経験を積んでいただきたいと思います。
- 2番さん 最初は不安と期待が半分半分でしたが、実際にやってみると充実感があります。もう一度選ばれてもまたやってみたいし、周りで選ばれる人がいたら絶対にやってみた方がいいよと勧めたいと思います。

3 番さん 法廷で被告人と一緒にするという不安や法律の知識がないという不安もあると思いますが、それらは裁判所からの説明やサポートで解消されると思いますので、経験されるといいと思います。

4 番さん 裁判員裁判には興味はありましたが、実際に裁判員に選ばれてびっくりしました。直接、裁判に携わったことで、テレビで犯罪のニュースを見ると、犯人にどんな事情があったのかなどと考えるようになりました。経験としてやってみるのもいいと思います。

以上